

GIGAスクール構想に基づく今後の教育について

GIGAスクール構想とは…

Global and Innovation Gateway for Allの略。

Society 5.0時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められるため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるもの。

なお、国は、今般の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和2年度の補正予算においてGIGAスクール構想を前倒し、全市区町村立学校において、令和2年度内に1人1台端末及び校内LAN整備の実現を図ることとした。

市立学校におけるICT環境整備の取組状況

現
状

児童・生徒用端末…小学校380台、中学校320台配備
特別支援学級用端末…全校配備済み（96台）
教育情報ネットワーク（こげらネット）整備、校務用
グループウェア導入 など

国・都の補助金等を活用し、本年度中にハード面の整備を行う

◆GIGAスクール構想

○1人1台端末の整備（予算措置済み）

児童・生徒用 14,000台

○校内通信ネットワークの整備

1人1台体制に耐えうる高速大容量のネットワーク整備

◆家庭学習通信環境整備支援事業〈都補助事業〉（予算措置済み）

ネットワーク環境が整っていない家庭に対する支援

・家庭学習用タブレット端末、通信機器（モバイルルーター）貸与 380台

・通信費の補助 5,000円/月

※GIGAスクール構想とは別に、家庭でのオンライン学習を支援するために都が行う補助事業

将来目指す方向

- ・学習者用コンピューターを活用した教育活動
- ・オンライン教材を活用した学習活動

個別最適化され
た学びの実現

感染症や災害時
でも学びを継続

全ての子ども
の学びの保障

スケジュール

R2年6月 タブレット端末に関する学校との意見交換
家庭学習用の機器貸与

R2年7月 タブレット端末選定予定

）

校内通信ネットワーク環境整備予定

R3年3月 タブレット端末納品予定